



▲熱々のぜんざいを一緒に食べました

八木町地区の社会福祉協議会、福祉委員や民生児童委員らでつくる「ふれあいネットワーク」が、富本小学校の児童（4年生）と校区のお年寄りらが交流し、地域のつながりを深めようと「ふれあい餅つき集い」を開催しました。お年寄りにこつを教わりながら、地元で収穫した新米で児童がもちをつき、児童による音楽発表があった後、ぜんざいに入れて一緒に食べながら、和やかに交流しました。

（12／8・富本小学校「ふれあい餅つき集い」・八木町）

「児童とお年寄りがもちつき交流」

美山町自然文化村が地元地域と一体となって行う収穫感謝祭「美山楽農祭り」が開催され、地域の方を始め、観光客からも多彩な催しを楽しみました。

自然文化村で作っているリンゴとバラの枝を材料にしたリース作りや陶芸体験、地元野菜やおぼんざいの直売屋台、リンゴの皮むき競争や美山牛乳早飲み競争など、美山ならではの趣向を凝らしたイベントが行われました。また、福引大会も行われ、地元の方や家族連れで会場は活気に満ちていました。

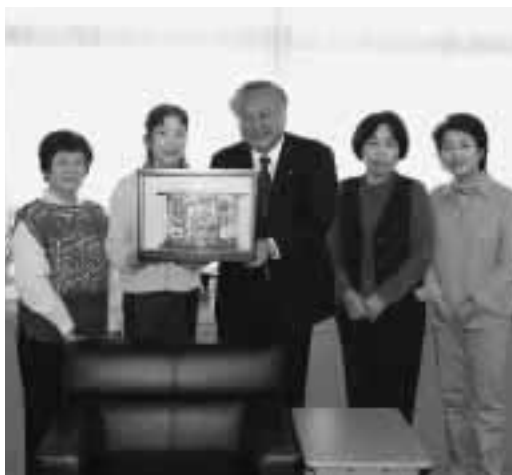


▲手づくり体験もにぎわいました

（11／23・美山楽農祭り・美山町）

「美山で収穫感謝祭を楽しもう」

「帯地で作ったミニ振り袖を寄贈」



▲女性の館が美しく仕上がったミニ振り袖を寄贈されました

南丹市園部女性の館では、ものづくりの講座やサークル活動を活発にされており、古布や着物などをリフォームして洋服や小物を作る講座に人気があります。

この度、女性の館運営委員の役員が帯地で作られた華麗なミニ振り袖を市長室に寄贈されました。振り袖を掛けるための衣桁は、京都伝統工芸専門学校の学生に作っていただいたとのことで、縦33×横41×奥行25cmのケースに収められています。

（11／2・女性の館ミニ振り袖寄贈・園部町）

「企画展『電化製品がやってきた!』」

昨年10月21日から12月3日にかけて、市立文化博物館で南丹市発足記念の秋季企画展「電化製品がやってきた!」が開催されました。

昭和30年代を中心に普及してきた電化製品の発売当時のものや、それまで活躍してきた知恵の詰まった昔の道具なども比較して展示されました。

また11月18日・19日は「関西文化の日」として無料開放されました。昔懐かしい電化製品を見て「お父さんが子どもの頃は、こんなテレビやったんやで」と、お子さんに説明される家族連れの姿がありました。



▲家族で電化製品の移り変わりを眺めます

（11／19・文化博物館企画展・園部町）